

春の全国交通安全運動

交通事故ゼロで気持ち良い新生活のスタートを！



4月6日(金)から15日(日)までの10日間、春の全国交通安全運動が行われます。新年度を迎え、入学したばかりの新1年生や、新しい学年となった児童・生徒が希望を胸に登下校します。道路を通行する際は、心と時間に余裕をもち、安全運転を心がけましょう。

危機管理課 ☎995-1817

春の全国交通安全運動

【目的】

市民一人一人が、自らの交通安全に関する意識を高め、交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣付けることで、交通事故防止の徹底を図る

【スローガン】

安全を つなげて広げて 事故ゼロへ

【運動の重点】

1. 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
2. 自転車の安全利用の推進
3. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
4. 飲酒運転の根絶

【裾野地区の統一重点】

安全確認「止まる・見る・待つ」の徹底

交通ルールの遵守と交通マナーの実践を！

子どもの交通事故防止

歩行中の子どもに多い交通事故は、道路横断中の事故です。信号機や横断歩道がない場所での横断中の事故や、交差点を右左折する車に巻き込まれる事故が多くなっています。道路を横断するときは、左右の確認だけでなく、周囲の安全確認も確実にいきましょう。

通学路や家の周りなどを、保護者と子どもと一緒に歩き道路上でのルールなどを確認し、実践できるようにしてください。

高齢者の交通事故防止

高齢者は、交通事故の被害者だけではなく加害者に

なるケースも増えています。加齢による体力や判断力の低下など、個人差はありますが高齢者特有の事情が影響しています。自分の運転技術を過信せず、無理をしない運転を心がけましょう。

自転車の安全利用の推進

自転車も車の仲間です。道路上では一時停止や信号機に従うなど交通ルールを守り、安全確認を確実にいきましょう。また、夕方から夜間の利用では、自動車と同様に早めのライトオンと、自発光式反射材を身につけるなど、他の通行者へ自分の存在を示すようにしましょう。

毎月10・20・30日は「交通事故ゼロの日」

全ての通行者が「おもいやり ありがとう」の精神で、交通安全に深い関心を持ち、それぞれの立場で正しい交通安全行動を身に付け、実践することが大切です。「交通事故ゼロの日」は、一人一人が事故を起こさないことを誓い合う日です。日頃から家庭や地域、職場でもお互いに声をかけあい、交通事故防止に努めましょう。

平成29年中の市内人身交通事故発生状況

発生件数	死者数	負傷者数
404件 (+62)	2人 (-1)	544人 (+94)

重傷事故は、夜間の交差点付近で発生しています。発生時間帯別では、16時～18時で全体の17.1%を占めています。

～ピカッと作戦～ 『明るく・目立て・光れ』

- ▶歩行者・自転車運転者は自発光式反射材の活用
- ▶自動車運転者は早めのライトオン